



PTAだより

白根高校 令和5年2月22日発行 (第97号)



令和4年度のPTA活動について

PTA会長 金丸 正

本年度のPTA活動を振り返ってみますと、学園祭での親父焼きそば、クリスマスケーキ作り、駐輪場のペンキ塗り奉仕作業など、コロナ禍による活動制限から抜け出し、当初予定していた活動が実践できたのではないかと思います。中村校長先生をはじめ諸先生方、保護者の皆様には諸活動にご協力いただき、ありがとうございました。

私が特に印象に残っているのは、3年ぶりに実施した学園祭での親父焼きそばです。前年度会長の深澤様を交え、大勢の保護者の皆様が生徒達の喜ぶ顔を見ようとアツアツの鉄板と格闘しながら、たくさんの焼きそばを焼き上げてくれました。

PTA活動は本校に携わる多くの方々のご協力をいただくことによって、成り立っています。生徒たちが安全に、充実した学校生活を送ることができるよう、来年度も多くの方にPTA活動に参画していただきたいと思います。

~~~~~ 3年生へ ~~~~~

現3年生は入学時、緊急事態宣言の真っ直中で入学式も挙行政も軒並み中止となるなど、新型コロナウイルス感染症に振り回された高校生活で大変悔しい思いをされたと思います。しかし、コロナ禍の中、じっと堪えその時々に来ることを考え、行動に移し実践してきたことが、必ず今後の糧となり成長につながると信じています。これからの人生においても困難な事が待ち構えていると思いますが、校是でもある「自主自立 進取研鑽」の精神に則り、どのような場面でも自ら率先して行動できるように頑張っていたきたいと切に願います。

## ペンキ塗りに参加して

篠原 光

2022年11月27日(日)、PTAによる駐輪場のペンキ塗りに参加させて頂きました。息子は2年生のため、私にとっては2回目の参加となりました。今回の作業では駐輪場2Fの残り半分を塗り全体を仕上げました。

当日は、晴れてはいたものの風は冷たく、また日陰という事もあり寒い中でのペンキ塗りとなりました。前回と同様に手慣れたお父さん達に感心させられましたし、この日の為に準備して下さった先生方、私達と一緒に刷毛を持って自ら作業してくださっていた校長先生に感謝しています。

後日、息子からの「何か、駐輪場がすげえキレイになってんだけど…」と言う言葉に、喜びをかみしめながら『さあて次回はどこを塗ってやるか??』と美味しいビールを頂きました。次回はもっと多くの保護者の方々に参加して頂けたらと思っています。



## オヤジ焼きそばに参加して

有野 昇

“オヤジ焼きそば復活??”

白根祭の名物?とも言われてたオヤジ焼きそばが3年ぶりに開催!コロナ禍ではあったが、多くの焼きそば好きのお父さんとお母さんが集結。

クラスTシャツならぬオヤジ焼きそばTシャツを身に纏い、気合いを入れてひたすらに焼きそばを焼く。販売と下ごしらえは慣れた手つきで淡々とこなすお母さん達。暑い中、汗を流しながらもみんなで談笑しながら焼きそばを焼いた光景が今でも脳裏に焼きついている。

ある女子生徒が「お父さん!頑張って!」と…それを聞いて何とも微笑ましかった。

売れ行きは…ともかく生徒達に美味しく食べてもらうのがオヤジ焼きそばの醍醐味でもある。

コロナで厳しい状況の中、生徒達に何もしてあげられなかったので白根高校には感謝!今後もこの活動を続けて欲しい。生徒や保護者の思い出として…



## 学園祭オヤジ焼きそばに参加して

保坂 あづさ

本年度PTA活動に参加させて頂き、6月に行なわれた白根高校学園祭、白根祭での「オヤジ焼きそば」のお手伝いさせて頂きました。

コロナ禍の中で入学し、「オヤジ焼きそば」を2年間食べる事の出来なかった3年生に、最後の学園祭で伝統の「オヤジ焼きそば」を味わう機会を提供出来てとても嬉しく思いました。

生徒も父親の焼く出来立ての味は、格別だったでしょう。

コロナに負けず復活した「オヤジ焼きそば」が、これから先、学園祭をはじめとする学校行事、部活動や勉強へ励む生徒達の原動力になってくれることを願います。



## 第71回全国高P連大会に参加して

校長 中村 千尋

8月25・26日の両日、第71回全国高P連石川大会が開催されました。新型コロナの影響で3年ぶりの現地開催となり、山梨県からもバス1台、37人が参加しました。

1日目は開会式の後、三つの分科会に分かれましたが、私は第二分科会「新時代の家庭教育」に参加し、浅野大介氏の講演「『未来の教育』を構想する」と、合田哲雄氏の講演「教育DX時代の子どもの学び」、その後のパネルディスカッションを拝聴しました。

1人1台端末の「GIGAスクール構想」推進者のお一人、内閣参事官の浅野氏の基調講演では「教育DXとは次の4つの学び方を『組み合わせ自在』にすることではないか」として、教育の未来が語られました。

|        | 対面型                         | オンライン型                  |
|--------|-----------------------------|-------------------------|
| オンデマンド | 必要に応じて職員室に会いに行く             | わかるまで繰り返し課題動画やドリルで知識を習得 |
| リアルタイム | 場に集まり、議論する／人の話を聞く(現状はこれが大半) | Zoomで国境、地域、学校を越えて議論する   |

パネルディスカッションでも、「これでなければ、に固執しない柔軟さが必要」「授業で出会うダイバーシティが重要で、オンラインこそまさにその出会いを創出できる」など、社会の求めに応じ、授業のあり方を問い直す必要性について、刺激的な興味深いお話を伺うことができました。

コロナ禍の中での大会ゆえ、県内参加者も参加日程の変更等が散見されましたが、式典前後の高校生によるアトラクションや会場内での物品販売・案内など、金沢らしい「おもてなし精神」が随所に発揮され、大会中終始雨天でしたが、心温まる大会でした。

## 3年生進路概況報告

進路指導主任 渡辺 敏

本年度の卒業生は125名ですが、2月14日現在、116名が進路を決定しています。進学については一昨年度入試制度の大きな改革が行われ、入試形態も「学校推薦型選抜」「総合型選抜」「一般型選抜」と名称が変わり、「大学入学共通テスト」は3年目となりました。

本校では、本年度進学希望者の88%が「学校推薦型選抜」「総合型選抜」を受験し合格しており、これは近年の受験傾向と同様となっています。県内への進学・就職内定者は76人で、進路内定者の65.5%と例年に比べ低めとなりました。

学問分野では、看護・医療・保育・食物系などの学部学科の人气が高く、実学・資格志向が見られます。国公立大学には、東京学芸大学、都留文科大学に各1名、山梨県立大学に3名が「学校推薦型選抜」で、山梨大学に1名が「総合型選抜」で合格しました。

就職では、8名が一般企業に内定し、内1名が県外就職です。今後「一般選抜」で国公立大学、私立大学合格を目指している生徒達にとっては、ラストスパートの時期になりました。

力を出し切り合格を勝ち取ってくれることを期待したいと思います。

## ケーキ作りに参加して

天野 君枝

11月24日PTA活動である『ケーキ作り』に参加しました。講師の先生はどんな方かなと準備されているのを探ってみると、清月のケーキの注文書を発見!!「清月のケーキが作れるんだ!!」とびっくりワクワク。白根高校の卒業生でもある講師の先生に、「ケーキ屋さんになるためには?」の質問もさせてもらいました。ケーキ作りではプロの手順を間近でじっくり見て、見よう見まねでチャレンジしました。安心の材料とカワイイ飾りのおかげでステキなケーキが出来ました。

次の日が中学生の息子の誕生日だったので、「特別なケーキだよ」と、反抗期の中学生を喜ばせる母の策略も見事に成功し、とても有意義な活動参加となりました。

とても幸せな気持ちになれるひとときを過ごすことができました。



## 編集後記

PTAだより第97号をお読みくださりありがとうございます。新しい生活様式が浸透する中、徐々にPTA活動も再開し手探りの状態で活動を進めていきました。

来年度のPTA活動への引き続きのご協力をお願いするとともにPTAだよりにご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

広報委員 熊倉めぐみ